

地域	沖縄県中頭郡	認定日	平成20年2月13日	9 - 19 - 010
事業分類	製造(食料・飲料・飼料)	テーマ分類	健康・福祉	

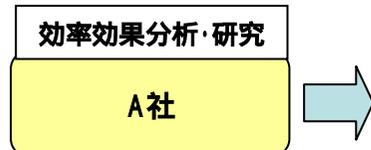
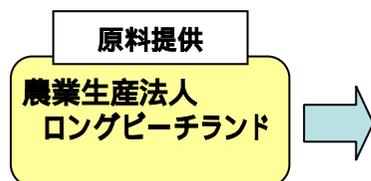
事業名: 伝統的沖縄野菜の青パパイヤ搾汁液を用いた機能性飲料の製造・販売事業

～パパイヤGABAとお酢のダブルのパワー～

事業概要(新規性、市場性等)

- ・沖縄県産青パパイヤの搾汁液を乳酸発酵させてGABAを増量させる技術と、泡盛の副産物であるもろみ酢から醸造酢を製造する技術を活かし、新たな健康飲料の製造、販売を行う。また、開発当初から、デザイン、マーケティング等のノウハウを持つ企業と連携することで、「売れる物づくり」の体制を作る。
- ・最近では酢の血流の改善効果と睡眠の質の改善効果が研究されており、健康酢の市場は約650億円というデータがある。また、GABAの血流促進、リラックス効果も注目され、GABAと酢の組み合わせによる睡眠改善健康飲料の商品が好調である。

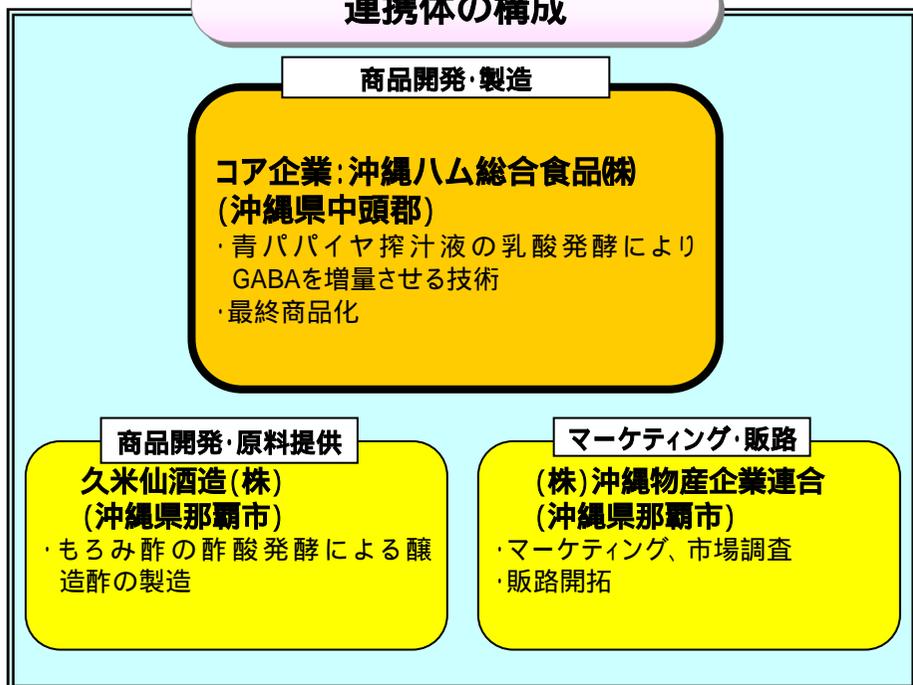
事業推進体制



支援予定メニュー

補助金
特許料等の減免措置

連携体の構成



商品イメージ



青パパイヤのハウス栽培風景

連携のきっかけ、特徴

- ・沖縄ハム総合食品(株)は主に食肉加工の販売、総菜製造販売、レトルト食品製造販売等を行っている企業である。最近では、国内で南西諸島が北限となっている「青パパイヤ」の高付加価値商品の開発に取り組み、パパイヤの搾汁液を乳酸発酵させ、GABAを増やす技術を開発した。(現在特許申請を行っている。)
- ・久米仙酒造(株)では、これまで泡盛、もろみ酢の製造に加え、もろみ酢から「醸造酢」を製造する技術を保有している。
- ・(株)沖縄物産企業連合が保有する直営店でも両者の商品は扱っており、これまでも販路の部分で取引関係があった。
- ・沖縄ハム総合食品(株)と久米仙酒造(株)の技術力を持って、新たな健康飲料を商品化するにあたり、「うれる商品づくり」を行う新たな体制として、開発の段階からマーケティング力を持つ(株)沖縄物産企業連合が携わることとなった。

コア企業の会社概要

企業名・代表者	沖縄ハム総合食品(株) 代表取締役社長 長濱 徳勝	
所在地	沖縄県読谷村字座喜味2822-3番地	
創業	昭和52年 2月 23日	
資本金・従業員数	27,000万円	21名
業種	食肉加工販売、総菜製造販売、レトルト食品製造販売、飲料製造販売	
T E L	098-958-4330	
F A X	098-958-4333	
ホームページ	http://www.okiham.co.jp	
e-mail		

PR等その他の情報

- ・現在、睡眠障害を抱える日本人は5人に1人といわれているが、GABAの持つストレス緩和や血圧降下作用と、酢の持つ血流を良くし体温を調整するダブル効果で快眠を促す商品づくりを行う。
- ・青パパイヤと醸造酢、いずれも沖縄の県産素材を活用し、安心・安全な製品を提供する。青パパイヤを活用することで、沖縄県の農業振興に貢献したい。